

2022年度グリーフサポーターやまぐち 報告書

2023.4

◎人材育成事業

グリーフサポーター(ファシリテーター)養成講座

2022年7月9日(土)～10日(日) 防府市 防府市地域協働支援センター 研修室2 13人

2022年10月22日(土)～23日(日) 下関市 蛭遊苑 長府製作所記念館 多目的ホール 22人

講師:高橋聡美氏 中央大学人文科学研究所客員研究員、前防衛医科大学教授(防府・下関会場)

相澤 治氏 あしなが育英会(下関会場)

グリーフサポートやまぐち (防府・下関会場)

※下関会場 はあとふりい下関(車いす障がい団体)とのコラボ開催

◎交通事故被害者・家族とその子どもたちのグリーフサポート

交通事故遺族の子どもとその保護者・大人の集い

山口県内にて 5回 27人

県内外(中国四国・九州方面当)での相談事業・裁判支援

電話・メール・ZOOM・対面相談 12事案 交通死亡事故、交通事故被害者・遺族対応

◎交通事故防止啓発講座

2022年4月11日(月)～15日(金)マツダ労働組合 新入社員研修等安全運転研修

取材:テレビ2社、新聞社3社

2022年6月～11月 山口県内9か所 山口県安全運転管理者協議会 管理者等講習 2561人

2022年9月9日(金) 九州小島株式会社 企業研修 70人

2022年10月15日(土) 山口市 星電気(株) 企業研修 18人

2022年12月2日(金) トラック協会岩国支部 10人

2023年2月20日(月) ニッポン放送 阿部亮のNGO 世界一周 ラジオ出演

◎研修・講座等

2022年6月6日、13日、20日、27日、7月4日、11日、25日各月曜日 13:00～ 学生20名

山口県立大学 社会福祉科 2年 ソーシャルワーク演習

グリーフサポート講座 当事者・関係団体等の講座等

講師:高橋聡美氏 中央大学人文科学研究所客員研究員、前防衛医科大学教授

清田悠代氏 NPO 法人市民しぶたね 代表(きょうだい支援)

藤本真樹氏 ギャップ・ファイリング(株)・NPO 法人コネク・ワン 代表

弦田八重子氏 社会福祉士・公認心理士・山口県SSW

篠原真紀氏 一般社団法人ここから未来 理事

取材:テレビ1社 新聞社1社 外部参加者:12名

2022年6月21日(火) 防府市立華浦小学校 73人

人権講習会・生命のメッセージ展開催(7月12日(火)～21日(木))

2022年10月29日(土) 徳山大学 40人

子育てシンポジウム

2022年11月1日(火) 警察庁 交通事故被害者サポート事業 熊本市

交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム

講演 対応事例「きょうだいを亡くした交通事故被害者等の支援事例」

2022年11月13日(金) 下関市立長府中学校 450人

人権講習会

2022年11月5日(土) 梅光学院大学 25人

グリーフサポート講座

2022年11月10日(木) 光市 令和4年度自殺対策講演会 46人

いじめ問題 講師:篠原真紀氏 一般社団法人ここから未来理事

※光市との協働開催

2022年11月23日(水) 男女共同参画課題解決支援事業 会場・WEB配信

「おとめ六法」の著者から聞いてみよう～女性が遭遇しやすいトラブルと法律

講師:上谷さくら弁護士

2022年11月24日(木) 岐阜県多治見市

犯罪被害者支援講演会

2022年11月26日(土) 下松市立花岡小学校 40人

PTA研修会

2023年2月5日(日) グリーフサポートやまぐち講演会

子どもの心とオンラインゲームの世界

講師:関正樹氏 児童精神科医

2023年2月24日(金) 公益社会貢献支援財団 15人

グリーフケア勉強会

2022年4月～2023年1月の間にスタッフ研修

きょうだい支援 ジブリングサポーター研修会 しぶたね主催 (2名)

ヤングケアラー多職種連携 勉強会 2回(2名)

共同親権研修会 (2名)

福岡県内の医療関係者でのグリーフサポート情報交換会(2名)

下町グリーフサポート響和国・ひこばえ訪問 グリーフ研修・意見交換会(2名)

※今年度表彰・助成金

国際ソロプチミスト防府推薦

日本西リジョン

ソロプチミストルビー賞 受賞「女性を助ける女性のために」

公益財団法人 社会貢献支援団体

第58回 社会貢献賞 受賞

交通事故被害者への情報提供・研修会等開催費用補助事業 一般社団法人 日本損害保険協会

男女共同参画課題解決支援事業 公益財団法人 きらめき財団

～2022 年度を振り返り～

今年度も、講演会や勉強会を積極的に開催する事により、広報啓発が出来、一般の方や様々な職種の方たちに参加していただき、グリーフに関心を持っていただけました。

私の原点となる交通事故の被害者の方々の背景には、様々な環境があり、それぞれ思いが違い、それを感じて家族支援とする事が重要と思われ、これは生きづらさを抱えておられる方も一緒です。

グリーフを抱えた方々を支援するには、多職種との連携は最も必要にて、特に力を入れました。

様々な助成事業のおかげで、地方にても私たちが学びたいテーマに沿った講師をお呼び出来て、支援者側同士との情報共有・勉強会、多職種との繋がりの機会が増えました。

また、一般の方たちにグリーフ等被害者の思いに寄り添い支援していただけるように、行政とのコラボ講演会が開催出来たことは助成事業があるので、当団体からのアクションが起こしやすかったです。

人材育成についても来年度は周南公立大学 福祉課に外部講師としてお声をかけていただきましたので、若い方への「グリーフ」の理解やグリーフサポーター、犯罪被害者支援者等を育成できる機会が増えた感じ、更に一層福祉関係にも広げていきたいと思えます。

まだまだ、人と人、団体と人、団体と団体などのコーディネート役の不足やサポーター育成など課題はありますが、今後も地道に事業を進めていく所存でおりますので、今後も宜しくお願い致します。



グリーフサポートやまぐち
京井 和子

